



# モルタル・コンクリート用養生剤 キュアフロー

キュアフローは、打設直後のまだ固まらないコンクリートやモルタルの表面に散布することで、表面の急激な乾燥によるプラスチック収縮ひび割れを抑制する、エマルジョンタイプの養生剤です。また、粘性が高く、ブリーディングが極端に少ない、表面の仕上げが困難なコンクリートにキュアフローを散布することで、コテの当たりが滑らかになり、仕上がりが良好なコンクリートを得ることが可能です。

## 用途

- モルタル・コンクリート打設直後の乾燥防止、プラスチック収縮ひび割れの低減。
- 粘性の高いコンクリート、ブリーディングの少ないコンクリートの表面仕上げ補助剤。

## 特長

- 打設後のモルタル・コンクリート表面を、キュアフローが保護することにより、急激な乾燥によるプラスチック収縮ひび割れの発生を大幅に低減させます。
- 散水養生や養生シートを併用することで、ひび割れ発生のリスクはさらに低減します。
- 仕上げの際、モルタル・コンクリート表面のコテ当たりが滑らかになり、仕上げの作業性が向上します。
- モルタル・コンクリート表面になじみ易く、ムラなく良好な仕上がりが得られます。
- モルタル・コンクリート表面が保湿されるため、仕上げ後の箒引きが容易にできます。
- セメントの水和に影響しないため、モルタル・コンクリートの硬化を遅延させません。

## 物性

主成分	外観	密度(20℃)	pH(原液、25℃)	凍結点	粘度(原液、25℃)
固形ワックス混合物	乳白色液状	0.95~1.00g/cm <sup>3</sup>	8.0~9.5	-3℃	150~350mPa·s

## 使用量

- 標準使用量 100g/m<sup>2</sup>(原液)

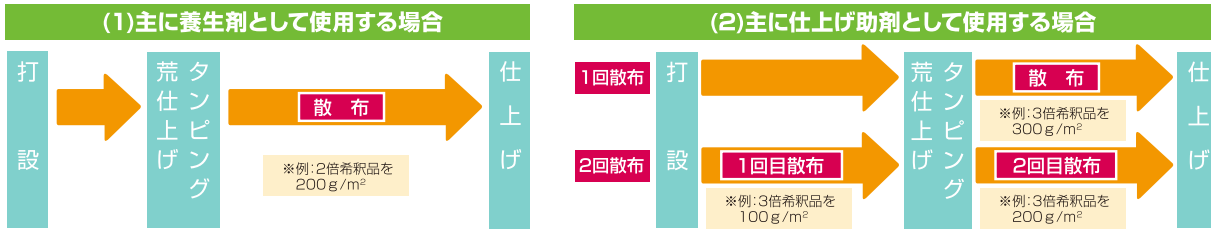
主な用途	水での希釈	推奨使用量*	散布に使用する器具
養生剤として	原液	100g/m <sup>2</sup>	ジョウロ、ハケ、ブラシ
	2倍希釈液	100~200g/m <sup>2</sup>	噴霧器、ジョウロ、ハケ、ブラシ
仕上げ補助剤として	2~3倍希釈液	200~300g/m <sup>2</sup>	噴霧器、ジョウロ、ハケ、ブラシ

※使用量は希釈液または原液の量を表示

## 使用方法

- モルタル・コンクリート打設後、標準使用量を計りとり、ジョウロやブラシを用いて表面に均一に散布してください。
- 養生剤として噴霧器を使用する場合、キュアフローを2倍に希釈して使用することを推奨します。
- 効果が不足する場合は、原液200g/m<sup>2</sup>までの範囲で増量してください。
- コテ、トンボなどの均し器を用い、散布したキュアフローをモルタル・コンクリート表面によくなじませながら、仕上げを行います。
- 仕上げの前に、タンピングによって骨材の露出を押さえることで、キュアフローが表面によりなじみ易く、仕上げ作業が容易になります。

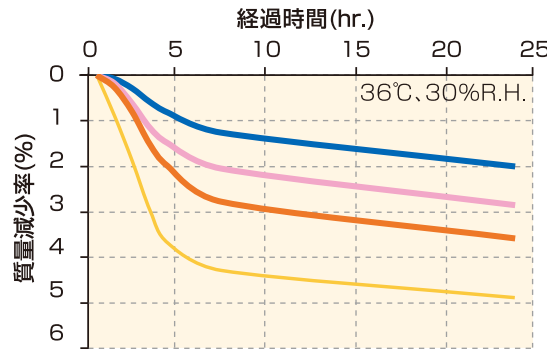
## 散布時期



## 試験結果例 — 経過時間と質量減少率の関係 —

W/C=35%, s/a=50.4%  
セメント:早強ポルトランドセメント  
スランブ: 21cm  
空気量: 4.5%  
型枠寸法: 30×30×5cm平板

- 無散布
- キュアフロー (原液) 200g/m<sup>2</sup>
- キュアフロー (2倍希釈品) 200g/m<sup>2</sup>
- キュアフロー (3倍希釈品) 200g/m<sup>2</sup>



- 測定  
36°C、30%R.H.の環境で  
質量減少率を24時間まで測定
- 散布量  
原液および希釈した  
キュアフローを  
200g/m<sup>2</sup>均一に散布し、  
コテ仕上げ

## 使用上の注意事項

- 原液での使用の際は、粘度が高いため、噴霧器が目詰まりを起こす可能性がありますので、ジョウロやハケ、ブラシにて散布・塗布を行ってください。
- プリーディングの多いコンクリートでは、プリーディングがおさまった後、十分に水を除去してから使用してください。
- 使用量が多すぎる場合は、色ムラや不具合を生じ易くなりますので、ご注意ください。誤って過剰量を散布した場合は、スポンジやタオルなどに吸わせ、除去してから仕上げ作業を行ってください。

## 取扱い上の注意事項

- 養生剤、仕上げ補助剤以外の目的には使用しないでください。
- 仕上げ材を適用する場合、付着を確保するためにキュアフローを適した処理方法で除去してください。(ポリッシャーによるサンディング、高圧洗浄機による除去等)
- シート養生を行う場合は、キュアフローを散布し仕上げ後、夏期は3時間、冬期は5時間程度後を目安に養生を開始してください。
- 他の製品との混合は絶対に避けてください。
- 本製品は密閉容器に保管してください。また、直射日光や、凍結のおそれのある環境では保管しないでください。
- 本製品は、原液で安定しておりますが、長期の保管により成分が分離することがございますので、使用時には必ず攪拌してください。
- 本製品を水で希釈した場合、短い期間で成分の分離が生じますので、必要な分量だけ希釈し、必ず攪拌してからご使用ください。希釈品が余った場合は、規則に従って廃棄してください。
- 取り扱いの際には、保護メガネ、保護手袋および保護マスク等の保護具をご着用ください。
- 本製品のお取り扱いに使用した器具は、使用後によく洗浄してください。
- 目に入った場合は、清浄な水で数分間注意深く洗い、医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸等で洗い、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、ただちに多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診察を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

## 荷姿

17 kg缶